「ネクストパンデミックを見据えた呼吸器感染症の包括的 研究」に対するご協力のお願い

研究責任者 藤谷 茂樹

研究機関名 聖マリアンナ医科大学病院

（所属） 救命救急センター

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

慶應義塾大学病院および下記にしめす共同研究機関にて COVID-19 を含む呼吸器感染症の診断もしくは疑いで通院・入院した方のうち、「ネクストパンデミックを見据えた呼吸器感染症の包括的研究」の研究参加に同意され、書面もしくは口頭で同意をいただいている方が対象となります。

2 研究課題名

承認番号 20241047

研究課題名 ネクストパンデミックを見据えた呼吸器感染症の包括的研究（多機関共同研究）

3 研究組織

研究代表機関

慶應義塾大学病院

研究責任者

教授 福永 興壱

共同研究機関は別紙参照ください

4 本研究の目的、方法

2019 年 12 月、中国で発生した新型コロナウイルスが日本を含む世界中に広がり、全世界を巻き込んで大流行を引き起こしました。WHO の推計では 2024 年 4 月までに全世界で 7 億人以上の感染者、704 万人の死亡者が報告されております。日本でも 340 万人の感染者、7 万 4 千人の死亡者が報告され、医療および社会経済的に多大な影響を及ぼしました。ウイルスの変異による病原性

の低下やワクチン開発といったこともありいったんは終息したものの、今後も同様の病原体に脅かされることが想定されます。

新型コロナウイルス感染症では肺炎を引き起こし重症化する患者さんもいる一方、無症状で経過する患者さんもいました。感染症全般に言えることですが、感染のしやすさや重症度に個人差があります。その人がもっている遺伝子レベルの違いだけでなく病原体の特性にも左右されます。

我々は常に吸い込む空気から病原体に曝露しており、感冒をはじめとした呼吸器感染症のリスクを有しています。今回の研究は、新型コロナウイルス感染症をはじめとした、呼吸器感染症に罹患した患者さんにご協力を頂き、その血液検体や気道検体を用いてゲノムおよび気道の細胞、病原体の解析を行うことで、呼吸器感染症の重症度を高精度に予測する方法を確立し、さらにワクチンによる予防法や治療法の開発に役立つ情報を見つけて、社会に貢献することを目指します。

5 協力をお願いする内容

「ネクストパンデミックを見据えた呼吸器感染症の包括的研究 (多施設共同研究)」の研究において採血した血液検体や気道検体 (鼻咽頭ぬぐい液や喀痰、気管支鏡検体) を使用させていただきます。提供いただいた検体から患者さんの DNA や RNA シークエンス、タンパク質の解析、血液検査や症状などの電子カルテから読み取れる臨床的データ、分離された病原体情報を多層的に解析します。その際データを抽出し個人情報に含まれない状態で解析を行い、プライバシーの保護には十分に注意を払います。保管している情報につきましては研究終了時もしくは不要になり次第速やかに破棄します。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2034 年 4 月 30 日

7 外部への試料・情報の提供

採取させていただいた検体は貴重な試料であるため、他の研究に使用させていただくことがあります。以下のデータベースおよびバンクにゲノム DNA 情報、メタゲノム情報、臨床情報を提供することがあります。その際は匿名化し個人を特定できない状況で提供させていただきます。

①機関名：日本 DNA データバンク (DDBJ)・バイオサイエンスデータベースセンター (NBDC)

代表者：高木利久・DDBJ および NBDC・センター長

②機関名：REBIND(新興・再興感染症データバンク事業ナショナル・リポジトリ)

代表者：杉浦 互・国立国際医療研究センター・臨床研究センター長

③機関名：European Genome-phenome Archive

代表者：Rolf Apweiler・EMBL-EBIC・Director

④機関名：一般社団法人感染症トランスレーショナル研究機構

代表者：福永興壺・一般社団法人感染症トランスレーショナル研究機構・代表理事

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人 (ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)

より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

南宮 湖（慶應義塾大学医学部感染症学 専任講師）

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地

TEL: 03-5363-3761/FAX: 03-3353-5958

E-mail: hounamugun@keio.jp

以上

共同研究機関一覧

研究機関名	職位	研究責任者
東京大学医科学研究所	教授	井元清哉
大阪大学	教授	岡田随象
東京大学	教授	岡田随象
京都大学	教授	小川誠司
国立国際医療センター	プロジェクト長	徳永勝士
東京医科歯科大学	特任教授	宮野悟
大阪大学	教授	熊ノ郷淳
名古屋市立大学	教授	奥野祐介
さいたま市立病院	部長	舘野博喜
済生会宇都宮病院	部長	仲地一郎
済生会中央病院	医長	高橋佐枝子
国家公務員共済組合連合会立川病院	部長	黄英文
川崎市立井田病院	診療部長	西尾和三
永寿総合病院	部長	宮脇正芳
東京歯科大学市川総合病院	教授	寺嶋毅
佐野厚生総合病院	部長	井上卓
北里研究所病院	部長	朝倉崇徳
埼玉メディカルセンター	部長	上田壮一郎
国立病院機構北海道医療センター	医長	小谷俊雄
京都府立医科大学附属病院	医員	須藤和樹
東京女子医科大学東医療センター	教授	庄古知久
国立病院機構熊本医療センター	部長	小野宏
国立病院機構大阪医療センター	部長	大西光雄
川崎医科大学附属病院	教授	戸田雄一郎
関西医科大学総合医療センター	教授	齊藤福樹
公立陶生病院	部長	武藤義和
岐阜大学医学部附属病院	臨床講師	北川雄一郎
愛媛大学医学部附属病院	教授	佐藤格夫
千葉大学医学部附属病院	病院長	横手幸太郎
東京警察病院	部長	金井尚之
国立病院機構京都医療センター	部長	西山慶
さいたま赤十字病院	部長	松島秀和
国立病院機構東京医療センター	医長	小山田吉孝
昭和大学病院	医員	桑原直太
石川県立中央病院	診療部長	西耕一

福岡大学病院	教授	高田徹
済生会熊本病院	副部長	川村宏大
筑波記念病院	医員	渡辺裕子
東京慈恵会医科大学附属柏病院	診療医長	戸根一哉
県立広島病院	主任部長	石川暢久
武蔵野赤十字病院	院長	泉並木
日本赤十字社医療センター	部長	出雲雄大
東京女子医科大学病院	教授	多賀谷悦子
日本大学病院	教授	權寧博
帝京大学医学部附属病院	教授	長瀬洋之
順天堂大学医学部附属順天堂医院	准教授	原田紀宏
東海大学医学部附属病院	教授	浅野浩一郎
昭和大学病院	准教授	田中明彦
東北大学病院	講師	山田充啓
東京医科大学病院	主任教授	阿部信二
東京医科大学茨城医療センター	教授	石井朝夫
東京品川病院	部長	佐藤隆
福島県立医科大学附属病院	主任教授	柴田陽光
国立病院機構大阪刀根山医療センター	部長	木田博
地域医療機能推進機構金沢病院	副院長	渡辺和良
横浜市立みなと赤十字病院	部長	熊谷二郎
筑波大学附属病院	教授	千葉滋
熊本大学附属病院	教授	坂上拓郎
山形大学医学部附属病院	教授	井上純人
国立病院機構九州医療センター	診療科長	岡元昌樹
久留米大学病院	主任教授	星野友昭
国立病院機構東京病院	医長	成本治
奈良県立医科大学病院	教授	笠原敬
KKR 札幌医療センター	診療部次長	福家聡
群馬大学病院	診療科長	前野敏孝
九州大学病院	助教	神尾敬子
済生会横浜市南部病院	主任部長	宮沢直幹
杏林大学病院	教授	石井晴之
複十字病院	センター長	吉山崇
日本医科大学	教授	清家正博
神奈川県立循環器呼吸器センター	所長	小倉高志
国立病院機構埼玉病院	院長	細田泰雄
熊本市民病院	副院長	藤井一彦

横浜労災病院	部長	伊藤優
公立藤岡総合病院	副院長	茂木充
国立病院機構渋川医療センター	診療部長	吉井明弘
伊勢崎市民病院	病院長	小林裕幸
防衛医科大学	講師	君塚善文
埼玉県立循環器・呼吸器病センター	副部長	石黒卓
帝京大学ちば総合医療センター	講師	萩野昇
京都大学	教授	平井豊博
済生会中津病院	部長	上田哲也
東京女子医大八千代医療センター	教授	桂秀樹
市立札幌病院	部長	提嶋久子
国立病院機構金沢医療センター	部長	加賀谷尚史
JA とりで総合医療センター	部長	小川晋一
東邦大学医療センター大橋病院	教授	松瀬厚人
自治医科大学	准教授	久田修
横浜市立市民病院	部長	吉村幸浩
宇治徳洲会病院	病院長	末吉敦
聖マリアンナ医科大学	主任教授	藤谷茂樹
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	医長	若竹春明